

神の安息に入れるように

2024年5月12日

序：不信仰によって生ける神から離れるな

神に逆らい、心をかたくなにするな

神のことばを聞きながら、神の御業を見ていながら、神を試し、試みた

出エジプト時のイスラエルは、忘恩、反逆、反抗

神の憤り、怒り



モーセに率いられてエジプトを出たすべてのイスラエル

ヨシュアとカレブ以外の旧世代

罪を犯して、荒野に屍をさらした者たち

従わなかった者たち

結果

安息に入れなかった 詩 95・11

原因

不信仰

I. 安息に入るための約束はまだ残っている

(1)先人、父祖たちの失敗を繰り返さないように

” 同じ轍を踏まないように

良い知らせを聞きながら、益としなかった（みことばと信仰が共働しなかった）

(2)その安息は天地創造時、世界の始まりの時からあり、今もある

第7日目 6日間ですべての創造の業を完成された主は休み、その日を聖別

創世 2・1～3

(3)荒野で神に逆らい心をかたくなにしたイスラエルは、その不従順のゆえに、安息に入れなかった（モーセが指導者）

(4)約束の地カナンに入り、各部族が相続地を得て、分割、それぞれの割当の地に住んだ（ヨシュアが指導者） 約束の地に入ったが、地上的安息

(5)ダビデを通して、同じ警告 7節 安息に入る人がまだ残っている
今日御声を聞くなら、心をかたくなにするな

(6)イエス・キリスト来臨以降の神の民に、安息日の休みは残っている

Ⅱ. キリスト信者の安息（日）

(1)キリストによって与えられる靈的安息 ⇒ 天における完全な安息

(2)キリスト信者の安息日は週の終わりの日 ⇒ 週の初めの日に移行

安息日

主の日

主イエスの復活が契機

(3)神の安息にあづかっているわれわれも、自分のわざを終えて休む

安息日（主日・聖日）ごとに（地上で）

召天・携挙以降は永遠に（天上で）

∴創造主なる神が7日目を休み、祝福、聖とされた

Ⅲ. 勧め・結び

(1)この安息に入るよう、力を尽くして努める

救いは恵みによって神から与えられた（すべて神の御業）

その後の聖化の歩みには聖徒各々にも責任があるし、委ねられている

力も意志も与えられている

(2)あの荒野のイスラエルと同じ不信仰の罪を犯して落伍しないように、恐れる心をもって、自他とも戒め、注意する

(3)福音を聞いて、それを自分事として信じ、受け入れたのなら、それに続く行為も信仰に結びつける（信仰と生活の一致）

(4)その一つが主日を聖別して、主を礼拝し、聖徒たちの交わり、隣人への愛のわざのために過ごす たましいも体も休める